

INFORMATION & OTHERS

頑張れ！の熱い気持ちは必ずライダーに伝わります！！

マスクの生活によりやく慣れたかなと思ったら、長梅雨に猛暑。ただでさえ移動制限や自粛を強いられて、選手はここに来るまで本当に調整が大変だったと思うんです。

半年近く遅い開幕ですからね。みなさん待ちわびたでしょうし、ライダーたちに会いたかった気持ち、我慢しきれ

の理由は土質。掘り返されボコボコだった路面が走行に連れてどんどん堅く締まってギャップとワダチが増えていく。でもその変化こそがオフロードの醍醐味です。ライダーによってアプローチの仕方が異なります。トップライダーたちがその変化にどう対応していくか、目をこらして注目して

みて下さい。一カ所に陣取って見るのもいいですが、スタート前のライダーの表情を見たり、ジャンプ、コーナーとポイント変えながら観戦するのも楽しいです。コース外周を回ってみるくらいのもみつけてください。

次ライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、IA1は白地に黒文字。逆に黒字に白がIA2、青地に白がIB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の山本選手とIA2の横山選手だけが赤地のゼッケンを付けているハズ。これはレッドブレイトと言ってポイントランキングトップの証。開幕戦では前年度のチャンピオンの証となります。

今年は全4戦と例年の半分になってしまったシリーズ戦。ライダーが目指すのはもちろんシリーズチャンピオンですが、トップライダーたちはヒート毎の成績にスポンサーと賞金契約を結んでいるので、まずは目の前の順位が重

要です。そうじゃないセミプロライダーはどうなのと言え、そこはやっぱり自己ベストやワークス勢に割って入ることを目標にしているので、スタートからチェッカーまで、やはり全力で走ります。IBのライダーだったら昇格や次のシーズンの体制にも影響するので、こちらもやはり必死なわけです。

レース中の途中経過は、上位だったらコントロールラインの電光掲示板に表示されますが、予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。

入場の際に受け取った公式プログラムをご覧ください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエンタリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになります、凸凹県出身のXX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ずーっとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、出店や展示ブースは必見です。今回応援フラッグもポスターも手渡しではなくテクニクスアウトになるとのこと。ソーシャルディスタンスを保ちつつ、パドック散策を楽しんでください。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間であれば必ず対応してもらえます。

走り終わって砂まみれになったマシンをあっと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。ワークスやサテライトのトップチームはス

タート後方の通路を進んだ先に展開しています。例年ならマシンの仕様も仕上がっている時期ですが、今年はようやく向かえた開幕戦。どのチームもコースコンディションに合わせた作り込みに余念がないハズです。

メーカーの威信を背負うライダーももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも見の価値があります。ライダーのコスチュームにも注目。ちょうど新型がリリースされる時期。派手なデザインばかりに目が行ってしまいがちですが、転倒などアクシデントが多い競技なので、危険な競技だけに安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なんかもぜひご覧になってください。

そんなことがあったの？MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが今年もやります。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。シーズンオフも様々な情報を配信します。みなさんぜひご登録ください。



編集後記

確か去年の今頃は、畑尾改め粉川樹璃ちゃんのWMXと電動アシストMTBのワールドカップ取材でイタリアに行っていたような記憶が。ローマからイモラサーキットまでドライブして、帰りはサンマリノ経由でローマに戻って初めてパチカンを観光したりしてたんでした。樹璃ちゃんの遠征をお手伝いする名目で、ドイツ〜ベルギー、オランダ〜ポルトガルをドライブしたり、全日本終了後は田中教世君のアジア選手権、タイスパークロス参戦取材にフィリピンやタイに行ったりと世界と日本のモトクロスを行ったり来たり。今思うと本当に自由で身近だったんですね。

全日本開催に感謝しつつ、今年はじっと我慢の年になるのかなあとため息つきながら、でもMXGPはベルギーもイタリアも1週間で3連戦なんだよな…と思いを馳せてたり。一時も早くコロナが収束して、また自由に出かけられますよう。MXING & MC Square 木田 淑



制作・発行 MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax: 050-4536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com

出力・印刷 東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住南町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax: 03-5284-1174
HP:http://www.topc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会発行 無料

PREVIEW-Sports Land SUGO

ようやくスタートの時を迎えた2020シーズン。混乱の時を乗り越え、開幕戦を制して短期決戦のリーダーに名乗りを上げるのは誰か？新たな観戦ガイドラインに沿ってレースを楽しもう。Photo/K.Kida

新型コロナウイルス感染拡大により、大幅なスケジュールの変更を強いられた今年のMFJ全日本モトクロス選手権シリーズ。その開幕戦が、8月29～30日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGO国際モトクロスコースで開催される。IA1クラスはディフェンディングチャンピオンの山本 鯨が、IA2は横山運希、LMXは本田七海が連覇に向けライバルたちの挑戦を受ける。短期決戦、苦難を乗り越え戦いの幕がいつに切って落とされる!!

マナーを守って楽しく観戦しよう!
1.入場時には検温と体調チェックに協力を
2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

王者山本に挑むライバルたち 成田は有終の美を飾れるか!

初の連覇に挑むディフェンディングチャンピオン山本 鯨 (#400 /ホンダ)とそれを阻もうとするライバルたち。ホンダのワークス活動休止によりサテライトチームからの参戦となった山本に対し、カワサキワークスの小方 誠 (#10) やヤマハワークスに移籍した富田俊樹 (#317)、富田のチームメイトとしてIA1クラスにチャレンジする渡辺祐介 (#110) も当然目指すのは最高峰クラス初のタイトル。ヨーロッパで腕を磨いた山本とアメリカで鍛えてきた富田、渡辺の戦いは特に注目が集まる。

そして忘れてならないのが今シーズン限りでの現役引退を表明した絶対王者成田 亮 (#982 /ホンダ)の存在だ。これまで幾つもの逆境をはね除けて全日本の歴史に数々の金字塔を打ち立てて来た成田。地元の声援を受け、有終の美を飾るために全力を尽くして勝ちに行くのは間違いない。

エントリーリストにヤマハの岡野 聖、スズキの深谷広一、カワサキの新井宏彰らの名前がないのは寂しいが、サテライトチームから参戦する小島庸平 (#44 /ホンダ)や大塚豪太 (#155 /ホンダ)、星野優位 (#166 /ヤマハ)や能塚智寛 (#55 /ホンダ)らも十分に勝てる力をもつライダーたちだ。国内最高峰クラスタイトルならでは、ハイレベルな戦いを堪能して欲しい。

エースゼッケンを付けた横山に大倉、小川...+ルーキーたちが挑む
アメリカ仕込みのアグレッシブなライディングで IA1 クラスを制した横山運希 (#1) は今季カワサキのワークスシート山本とアメリカで鍛えてきた富田、渡辺の戦いは特に注目が集まる。横山のライバルとなるのは、昨シーズンその横山を上回るシーズン5勝をマークした大倉由揮 (#31 /ヤマハ)。石浦 諒 (#954 /ホンダ)や内田篤基 (#39 /スズキ)、怪我から復帰した大城魁之輔 (#36 /ホンダ)も十分優勝を狙えるライダーだ。ルーキーではヤマハの育成チームに抜擢された中島激也 (#01)、同じくヤマハの袴田哲弥 (#02) らの元気な走りにも注目したい。中島は18歳、袴

田は17歳。このクラスには他にも十代の選手が10名以上エントリーしている。一方その存在が気になるのが、カワサキの開発ライダーとして3シーズン振りに参戦してきた勝谷武史 (#888)だ。前回は2017年に2戦スポット参戦し3勝をマーク。その実力はIA1のトップライダーたちも認めるどころ。40歳の大ベテランが若手中心のクラスをどうかき回すか楽しみだ。

攻撃的な走りでも連覇を狙う本田粉川はIBとダブルエントリー!!
昨シーズン、切れのあるスピードとアグレッシブなライディングでライバルを圧倒し初のタイトルに輝いた本田七海 (#1 /ヤマハ)。過去2度タイトルを獲得し、昨年もランキング2番手とな

た竹内優菜が現役を退いたため、本田のライバルとなるのは、ホンダの川井麻央 (#2) と粉川 (旧姓畑尾) 樹璃 (#63)、ハスクバーナを駆る久保まな (#4) が有力。ちなみに昨年ウイメンズ世界選手権を戦って来た粉川はLMXとIB Openにダブルエントリー。IA 昇格を目指す男子を相手にどこまで通用するか、こちらも注目して欲しい。未来のスターたちがひしめくIB Open、ジュニアやチャイルドクラスに加え、今年も併催されることになった2st125クラスにも注目。ジャパンスパークロスのヒーロー松田 強さんは残念ながら参戦を見合わせたとのことですが、プログラムのエンタリーリストを見れば、おやっという名前がいくつも見つかるハズです。日曜日最後のプログラム、こちらもぜひお楽しみください。

第1戦	SUGO大会	8月29～30日	宮城県/スポーツランドSUGO
第2戦	近畿大会	中止	奈良県/名阪スポーツランド
第3戦	SUGO大会	10月3～4日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	中止	10月30～11月1日	
第5戦	MFJ-GP	11月14～15日	熊本県/HSR九州
第6戦	関東大会	11月28～29日	埼玉県/オフロードヴィレッジ

裏磐梯檜原湖
バス釣りレンタルボート
いつもの処 ふじもと
福島出身国際A級 藤本正勝がやっつめす!!
場所とみなさんの釣果
お問い合わせはコチラまで

Arai HELMET
安全性能の追求!
株式会社アライヘルメット
〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL (048) 641-3825
http://www.arai.com/jp/

IRIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

suspension service
Technix
WWW.technix.jp
Image of a motorcycle suspension part.

全日本モトクロス選手権 第1戦 SUGO大会 開催おめでとうございます。
HONDA
YAMAHA
Revs Your Heart
SUZUKI
Kawasaki

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。